

第14回
沖縄国際映画祭
特別上映作品



リスペクト・ミー！
ウォッチ・ミー！
フォロー・ミー！

熟成30年
オキナワン クリス
ダンディ！
沖縄的古酒伊達者

一生売れない、 心の準備はできてるか

監督・當間早志 出演：やちむん刺激茄子 製作：シネマラボ突貫小僧・しげなすレコード 2022年

一生売れない 心の準備はできるか

18人編成、伝説の首里劇場ライブがスクリーンに甦る！

沖縄発のバンド「やちむん刺激茄子」のリーダー・奈須重樹は2021年で音楽活動30周年を迎えた。玄人筋には評判が良い作詞作曲能力だが、これまで小ヒットが一曲のみ。それでもめげずに活動を続け、今は流しを中心に日銭を稼ぎながら精力的に新曲を発表している。

そんなイマイチ“売れない男”が脚光を浴びたのが、バンド結成25周年記念で挑んだ【首里劇場】ライブである。満員の聴衆を前に天衣無縫なパフォーマンスを繰り広げ、沖縄最古

の映画館を華やかな空気で包み込んだ。

監督の當間早志は、彼を長年撮影し続けてきた盟友。18人編成のビッグ・バンドで臨んだライブを迫力たっぷりに活写しつつ、奈須のインタビューを通して、彼が紡ぐ楽曲の唯一無二の魅力を伝える。長い年月を経た建物だけが醸し出せる強烈な【首里劇場】の佇まいも見どころ。

熱成30年、沖縄的古酒伊達者の叫びは、見る者すべてに笑顔と勇気を与えてくれるはずだ。



首里劇場

舞台は沖縄で最も古い伝説の映画館

地上戦の惨禍が未だ残る1950年に開館して以来、姿かたちをほぼ変えることなく70年余りにわたって営業を続けてきた沖縄に現存する最古の映画館。

当初は映画の他に沖縄芸能や学校の文化祭

などで活用されていたが、時代の変遷と共に成人映画専門館へ。

2021年5月に名画座として再出発するも、翌年4月に三代目館長の金城政則氏が急逝。現在、有志らによって今後の存続が検討されている。

監督：當間早志

1966年那覇生まれ。映画、CM、PVなどの演出の傍ら、映画関連のイベント・プロデュース、沖縄の映画興行史やロケ地の調査を行っている。映画『ハイナッブル・ツアーズ』『探偵事務所5・マクガフィン』など。共著『沖縄まぼろし映画館』。

「メインの首里劇場ライブの映像は一つの商品にする予定はなかったのに、たまたま僕を含めた3人のカメラマンが記録のために夢中で撮っていた映像がほぼ全体を網羅しており、夢のように大盛況だったあの日の興奮を再現できたと思っています。インタビュー中に起こったプチ・ハプニングも含めて僕にとっては奇跡的です」



出演：奈須重樹

1964年宮崎県東郷町生まれ、7歳より延岡市で育つ。大学進学を機に1982年より沖縄在住。大学卒業後、写真家として活動しながら1991年「やちむん」結成。1994年に「がんばれいぼやーる」が沖縄県内に小ヒット。2013年からは「やちむん刺激茄子」名義でも活動。メンバーチェンジを繰り返しながら、現在までに12枚のアルバムを発表。生業としての写真家はいつの間にか廃業。最新作はアナログLP「まるでソングブックのように」。

「ライブ、友情、ユーモア。この映画をモキュメンタリーならぬ、ポビュメンタリー(POP+DOCUMENTARY)と名付けたい」

監督・撮影・編集：當間早志 プロデューサー：奈須重樹、平良竜次 ライブ撮影：野田尚之、牧野裕二 アニメ：中村大蔵
出演：奈須重樹、育、長谷川淑生、さとうこうすけ、比嘉正一郎、ヤキフミトモ、関島岳郎、島田篤、和田充弘、有田康信、ジーナ、新良幸人、ローリー
知念保、本村実篤、儀部“ベギー”高行、高宮城徹夫、金城千賀子、赤嶺志麻子、内間晶子
製作：シネマラボ突貫小僧、しげなすレコード 配給協力：MAP、ミカタ・エンタテインメント (2022年/121分) <https://dekiteruka.com>



2024年ゴールデンウィーク第一週！

4.26(金) ▶▶▶▶▶ 5.2(木)

全日、舞台挨拶&ミニライブ予定

JR 吉祥寺駅北口、吉祥寺パルコ地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422-66-5042 <https://joji.uplink.co.jp>